

原料費調整制度に基づく2022年4月分の調整額について

諏訪瓦斯株式会社

「原料費調整制度」とは、輸入原料価格の変動を迅速にガス料金へ反映することを目的とし、輸入原材料の価格変動に応じてガス料金を調整する制度です。基準として設定した原材料の「基準平均原料価格」と貿易統計価格の3ヵ月ごとの「平均原料価格」とを比較し、その変動分を単位料金(1m³あたりの単価)で毎月調整します。

今回の調整は、2021年11月から2022年1月の平均原料価格に基づくものです[原料費調整のイメージ]

11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
3ヵ月の平均原料価格			→		反映		
			→		反映		
			→			反映	
			→				反映

○2022年4月検針分に適用される料金表[一般契約]

(税込)

	1か月のご使用量	基本料金 (1か月あたり)	調整単位料金(1m ³ あたり)	
			2022年3月検針分	2022年4月検針分
料金表 A	0 m ³ から 11 m ³ まで	786.50 円	219.78 円	222.42 円
料金表 B	11 m ³ 超～115 m ³ まで	891.00 円	210.31 円	212.95 円
料金表 C	115 m ³ 超～	1,961.30 円	200.99 円	203.63 円

○調整額の算定 **基準平均原料価格 54,690円/トン**

2021年11月から2022年1月のLNG輸入価格の平均値 (貿易統計値CIF価格)	83,760 円/トン(10円未満四捨五入)
2021年11月から2022年1月のプロパン輸入価格の平均値 (貿易統計値CIF価格)	92,100 円/トン(10円未満四捨五入)
平均原料価格の算出 $83,760 \text{ 円/トン} \times 0.9711$ $+ 92,100 \text{ 円/トン} \times 0.0460$	85,580 円/トン (10円未満四捨五入)
原料価格変動額の算定 (平均原料価格－基準平均原料価格)	$85,580 \text{ 円} - 54,690 \text{ 円} = \underline{30,800 \text{ 円/トン}}$ (100円未満切り捨て)
原料価格1トンにつき100円変動した場合のガス料金1m ³ あたりの価格変動額	0.075 円
2022年4月分検針の調整額(1m ³ あたり)	$30,800 \text{ 円} \times 0.075 \text{ 円} \div 100 \times 1.10 = \underline{25.41 \text{ 円}}$ (税込) (小数点第3位切り捨て)
2022年3月分検針の調整額(1m ³ あたり)	22.77 円(税込)
(4月分)対(3月分)増減(1m ³ あたり)	+2.64 円(税込)

2022年4月分の単位料金を1m³あたり +25.41円(税込)調整させていただきます。

○標準一般家庭における影響額

(税込)

1か月のご使用量	2022年3月分料金	2022年4月分料金	影響額
20m ³	5,097円	5,150円	+53円